



Disaster prevention Expert News

東北地方 防災エキスパートだより

2005.6
vol.6

発行:平成17年6月28日

東北地方防災エキスパート事務局 TEL.022-268-4454((社)東北建設協会内)

防災課が新設されました

昨年は全国各地で風水害が多発したほか、新潟県中越地震の発生、暮れには全世界を震撼させたインド洋大津波が発生し、防災に対する国民の関心はますます高まるばかりです。

このような背景の中で、これまで各地方整備局の防災事務局は企画部企画課と防災対策官が担当していましたが、今年4月から全国の地方整備局企画部に防災課が新設され、防災及び危機管理業務の総括的事務、関係機関との調整窓口等を担当することになりました。

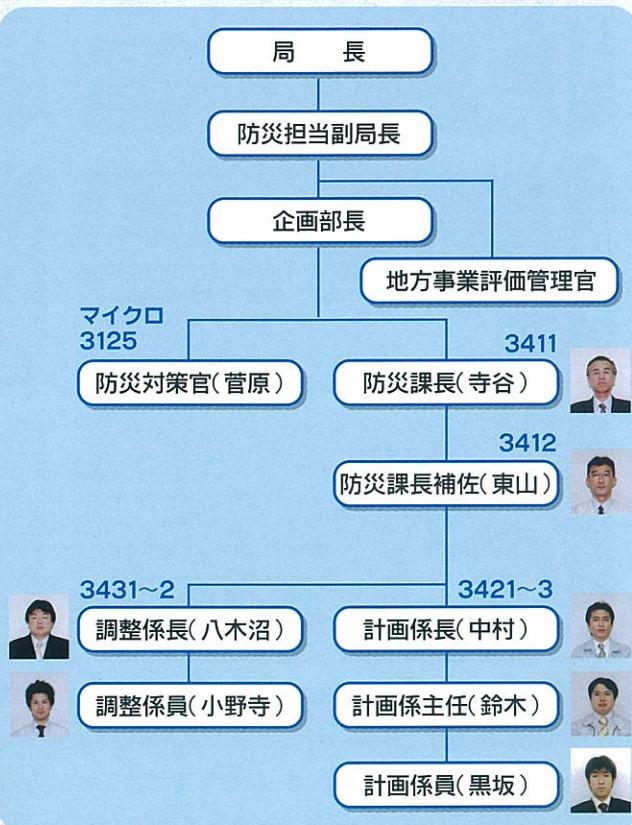
東北地方整備局では、右の図のように7名の職員からなる防災課が誕生し、防災対策官は主として外部機関との連携に関する業務等、防災課長は内部の業務計画及び運用等と、地方公共団体所管施設の災害（補助災害）の災害査定業務に関する事務を担当することとしています。

なお、防災課は北庁舎3階の一番東側ですが、今年2月に南中庭分庁舎に完成した災害対策室のご見学などもあわせて、皆様にお立ち寄りいただければ幸いです。



災害対策室

東北地方整備局防災対策官 菅原信雄



防災情報の表示

とりわけトriageは、負傷者の緊急度・重傷度に応じて治療の優先度を救急隊員、医師、看護師などが判断するもので、子ども、女性、老人、障害者などの弱者への配慮もあって行われます。比較的軽い負傷者はこれを受け入れ、周囲の関係者もこれに協力できる幅広い国民の理解が必要になります。

- ①トriage (選別)
- ②ランバートーン搬送
- ③トriageメント (治療)
treatment

災害医療は通常の緊急医療と異なり「限られた人的・物的医療資源により多くの命を救う」もので、そのため「資源をどう使うか」として一つ一つのトライアングルがあります。

【災害医療】

一口メモ
シリーズ III



「平成16年度 防災エキスパート意見交換会」

北上川下流河川事務所管内防災エキスパート意見交換会

あらかじめ行われた「防災エキスパート支援箇所の意向確認」に基づいて、各出張所別に支援可能な防災エキスパートの方に参考いただき、各出張所管内の現場視察及び意見交換、地区毎の堤防特性（土質・工法等）や在勤当時の経験談等をお話ししていただきました。

大崎出張所 	平成17年2月21日(月) 北上川下流河川事務所側 事務所長・出張所長他5名 防災エキスパート側9名	涌谷出張所 	平成17年2月28日(月) 北上川下流河川事務所側 副所長(2)・出張所長他3名 防災エキスパート側6名
鹿島台出張所 	平成17年2月23日(水) 北上川下流河川事務所側 副所長・出張所長他3名 防災エキスパート側9名	米谷出張所 	平成17年3月3日(木) 北上川下流河川事務所側 副所長(2)・出張所長他4名 防災エキスパート側5名
鳴瀬出張所 	平成17年2月25日(金) 北上川下流河川事務所側 副所長(2)・出張所長他3名 防災エキスパート側12名	飯野川出張所 	平成17年3月7日(月) 北上川下流河川事務所側 事務所長・出張所長他8名 防災エキスパート側4名

仙台河川国道事務所管内災害対策活動に関する意見交換

仙台河川国道事務所で希望した、配置予定防災エキスパートの方々の中から、14名の方が出席して、事務所、名取川・岩沼・角田及び仙台海岸出張所の職員の方々と、各出張所の業務概要や五箇堀川浸水情報提供システム・樋門情報管理システムなどの新システムの機能概要説明及び防災エキスパートが支援できること、また、官側として支援を得たいと考えていることなどについて意見交換を行いました。

仙台河川国道事務所 	 	平成17年3月10日(木) 仙台河川国道事務所側 事務所長・各出張所(4)長他16名 防災エキスパート側14名
---	--	--

編集後記

・6月1日付けで、東北防災エキスパート事務局を担当することになりました。宍戸前防災調査部長同様よろしくお願ひいたします。また、エキスパート事務局を担当しておりました佐藤順主事が4月1日付けで仙台支所へ配置換えとなり、その後任に企画事業部から斎藤幸浩主事が防災調査部に配置換えとなり、新たにエキスパート事務局を担当することになりました。あわせてよろしくお願ひいたします。

・現在エキスパート事務局では、防災エキスパートの新規登録者を含めました「東北地方防災エキスパートブロック別名簿」を作成中です。「個人情報の保護に関する法律」いわゆる「個人情報保護法」の関連もあることから、作成後即お届けするというわけにはいかないようですが、なるべく早く作成したいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

防災調査部長 白土 記



●このパンフレットは古紙配合率100%
再生紙を使用し、印刷には大豆油インクを使用しています。